

代表者交流会のあり方アンケート回答結果（R7.3実施）

No.	ご意見
1	<p>今年度より会長に就任し、参加しました。この一年間を振り返るとまち協の会長は色んな組織からの窓口になっているのだと感じました。以前からの当まち協の会長は、自治会長経験者が就任されていたようです。私のマンション管理組合は自治会に所属してないので、自治会の事は何もわからない、初めての会長だったようです。まち協の位置づけも自治会が力を持っていると思っている先輩方が多いですね。20のまち協の代表者交流会は長年の経験者が多くて、良くそれだけ続けられるなどの印象です。当まち協はコロナ以降1年又は2年で会長が変わりましたのでそれが普通だとの認識が崩れました。代表者交流会のあり方と言われてもわかりません。</p>
2	<p>令和6年度から行財政改革の一環として、事務事業の見直しが行われていますが、事務事業の見直しが住民自治に影響する可能性もあります。代表者交流会では、事務事業の見直し案を市民と行政との間で情報を共有しながら協議を出来たらと思います。また、今後10年先、20年先どのような社会になるかを皆で共有し今から何をすべきかを協議出来たらと思います。</p>
3	<p>ワークショップ形式で30分でも確保できると、他のまち協の状況が分かり、好ましいと感じました。最初からグループ分けして配席しておく与会議の合間に情報共有できます。また、3回に1回程度はグループで話し合うようにしたいです。防災担当者を加えてのワークショップも年に1回実施したいです。</p>
4	<p>各まち協ごとに課題はあると思いますが、それらを共有し、解決のヒントが見つければと思います。</p>
5	<p>日頃から、まちづくり協議会の活動のあり方は地域の活性化や地域課題の解決などを意識して取組んでいる。また、様々な場面で住民参加を呼び掛けている。その為には目的と役割の明確化が重要である。また住民同士の顔の見える関係作りや地域資源の活用も大切である。住民（自治会、民生委員、学校）などとの連携作りや行政機関との日頃の関係作りにも力を注ぐことが重要であり、時には専門家を交えて話合うことも必要と言える。</p> <p>就中、代表者交流会において重要なのは①多様な意見を取り入れる②透明性と情報共有③役割分担の明確化 などが挙げられる。</p> <p>お互いの地域課題を共有把握して何を為すべきかを考えることで、先が見えてくる。まあ、総合計画に沿ったまちの将来ビジョンを語り合うことで切磋琢磨の世界が開けてくるように思う。やはりそれには市のこれからの「旗」＝今後目指すものが必須である。</p> <p>形式にとらわれず時世に相応した運営を望みます。</p>

代表者交流会のあり方アンケート回答結果（R7.3実施）

No.	ご意見
6	<p>今の、「まち協代表者交流会」は、総会は開かれず、年間事業計画も事業報告も決算・予算もない。つまり、まち協代表者同志の交流の場である。しかし、市民協働推進課の指導のおかげで、「まちづくり計画」他の情報共有は年々進み、「まち協代表者交流会」の存在意義は高まってきている。</p> <p>そこで、この「まち協代表者交流会」に予算を付けて、より存在価値のある組織にしてはどうか。と考えます。つまり、充実した組織運営に移行することも視野に入れてはどうか。</p> <p>そして、自治会との関係を考えて、俯瞰してみた場合、まち協と自治会はある意味では、範囲の大小はあれ、同じことをやっている。むしろ、まち協の手の届かない部分を、自治会が補完しながら、円滑な活動を進めていると言っても良い。</p> <p>我がまち協のまち協組織が、自治会の集合体であり、非常にスムーズな活動を続けている。</p> <p>また、自治会の活動範囲は、1地区から7地区であり、まち協に比べて、3倍ほどの自治会員を抱えている。範囲が広すぎて、例えば「防災」活動にしても、住民に手が届く活動が難しいのが現状である。</p> <p>そこで、「まち協」と「自治会」が並列的な立場になり、手を組む。つまり、他市にもあるが、「まちづくり協議会自治会」ともいうべき、組織に移行する。</p> <p>まだまだ、言いたいことはありますが、まち協代表者交流会には色々な立場の方々が、おられますので、皆で将来について、話し合いをしていきたいと考えています。</p>
7	<p>うちの地域においてですが、年々若い世代の方が増えづらくなりました。世の中の流れもありますが、新築が増えないこの地域特有でもあるかなと感じます。</p> <p>そんな若い世代の中でも、共働きで家庭生活自体がお忙しいご家庭も増えました。以前はPTAの方々も、PTA活動の延長として地域を支えて下さってましたが、まずは自分達の活動すら見直ししなければならない状況です。</p> <p>担い手問題については他にも要因はありますが、10年前と同じ地域活動を掲げてもついていけない現実があり、地域の中で価値観の違いを感じる場面もあります。解決には多少時間が必要な問題だと感じています。</p> <p>そんな中で、行政が地域に対し担って欲しい事が増えつつあると感じます。それらを地域が受け入れてやっていかなければならない部分があるのは理解できますが、その時に受け手側の地域の皆さんの事情や感情をきちんと知って欲しいと感じますし、それは代表者交流会という場ではないと思います。</p> <p>あと個人的ですが、普段はパソコンではなく携帯やタブレットを使用しています。防災課さんからアンケートが来た時は携帯で気軽に返せる仕様だったので、簡単なアンケートはそういうものだと思われたいと思います。</p>

代表者交流会のあり方アンケート回答結果（R7.3実施）

No.	ご意見
8	<p>交流会設置要綱にある、互いの独自性を尊重しながら交流を深める目的に沿った運営がされているように思います。しかしながら、その交流を深める手段としての意見交換やグループトークが表面的な部分だけで終わり、その都度時間が経過して取りまとめたものが成果につながっていないように感じます。</p> <p>地域ごとに環境や特性に違いがあるため、意見が一致することを目的にした話し合いでなく、いろんな意見を聞くことで参考になる話し合いの場所への時間割を希望します。また、事例発表でも、順番が来たから通り一遍の経過報告よりも、これを伝えたい内容の発表が聞ける場面を期待します。今年度試行しました、年間通じてのテーマを決めての話し合いは成果につながると思いますので、次年度からも期待します。</p> <p>他のまちづくり協議会開催イベントへの参加は、行く方も来られる方もそれなりに緊張感が出て参考になると思いますので、現場での交流機会を案内しても良いと思います。</p>
9	<p>①「まちづくり協議会代表者交流会」は「まちづくり代表者会議」に変更</p> <p>②毎年、変更する3名の座長団は1名が、次期座長団に残る（組織、活動の継続性）</p> <p>③「まちづくり協議会」（まち協）と「コミュニティ」という呼称に統一性を持たせる。</p> <p>④将来、「コミュニティ通信（新聞）」を発行。</p>
10	<p>市からの情報説明が多いが、各まち協の情報提供を増やして頂きたい。</p> <p>また、共通課題については審議では無く、各まち協の状況報告をしてもらいたい。</p> <p>例えば中学校のクラブ活動の地域移行について等。</p> <p>行政は代表者交流会で説明した事は全市民に説明済と捉えられている様です。</p> <p>しかし実際にはほんの一部のコミュニティ役員にしか伝わりません。</p> <p>広く市民に伝えたい事項については広報たからづかだけではなく、他の広く市民に伝わる方法を検討願いたい。特に近年の広報たからづかは詐欺まがい商法の契約書と同じで、行政にとって好ましくない記事は何処に掲載されているのか分からなく、記事も何を言いたいのかよくわからない記事となっています。もっと市民にオープンな情報伝達をお願いしたい。</p>